

令和 7 年第 3 回富岡町農業委員会定例総会 令和 7 年 4 月 1 5 日（火）

開 会 （午前 1 0 時 0 0 分）

○開会の宣告

○議長（佐藤清隆君） それでは、皆様、改めましておはようございます。

開会に先立ちまして、3 番の深谷昇委員と 7 番の笹山光政委員が本日は欠席しておりますので、ご報告いたします。

ただいまから令和 7 年第 3 回富岡町農業委員会定例総会を開会いたします。

ただいまの出席委員は過半数以上でありますので、富岡町農業委員会会議規則第 8 条の規定によりまして、本総会は成立することを報告いたします。

○開議の宣告

○議長（佐藤清隆君） 直ちに本日の会議を開きます。

○議事日程の報告

○議長（佐藤清隆君） 本日の議事日程は、お手元に配付した資料のとおりとなっております。

○会議録署名委員の指名

○議長（佐藤清隆君） 日程第 1、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、規則第 16 条の規定により、議長において

1 番 林 秀 樹 委員

2 番 山 口 喜久雄 委員

の 2 名を指名いたします。

○会期の決定

○議長（佐藤清隆君） 次に、日程第 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本総会の会期は、本日 1 日間としたいと存じますが、これにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（佐藤清隆君） 異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

○議案の一括上程

○議長（佐藤清隆君） 次に、日程第 3、議案の一括上程を行います。

事務局長の朗読を求めます。

事務局長。

〔事務局長朗読〕

○議長（佐藤清隆君） それでは、議案第6号 農地法第3条第1項の規定による許可申請についてを議題といたします。

事務局長より朗読と農地法に基づく検討事項の説明を求めます。

事務局長。

〔事務局長朗読、説明〕

○議長（佐藤清隆君） 朗読と説明が終わりましたので、これより審議に入ります。

現地調査員である吉田和史推進委員のご意見をお願いいたします。

○最適化推進委員（吉田和史君） 4月7日に職員4名、農業委員2名、推進委員2名で現地調査に行きました。申請地については、資料の15ページから17ページになります。現地調査の結果、特に問題はないと思いました。

以上です。

○議長（佐藤清隆君） ありがとうございました。

推進委員の説明が述べられましたので、これより質疑を行います。皆様からご質問やご意見等がございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（佐藤清隆君） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

これより議案第6号別紙1を採決いたします。

採決は挙手により行います。

本案を許可とすることに賛成の皆様の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（佐藤清隆君） 挙手全員であります。

したがって、本案は許可とすることに決しました。

続きまして、議案第6号別紙2に進みます。

事務局長より朗読と農地法に基づく検討事項の説明を求めます。

事務局長。

〔事務局長朗読、説明〕

○議長（佐藤清隆君） 朗読と説明が終わりましたので、これより審議に入ります。

現地調査員である吉田和史推進委員のご意見をお願いいたします。

○最適化推進委員（吉田和史君） 4月7日に同じく現地調査に行ってきました。申請地は、ページの38から41になります。現地調査の結果、特に問題はないと思いました。

以上です。

○議長（佐藤清隆君）　ありがとうございました。

現地調査結果の意見が述べられましたので、これより質疑を行います。皆様からご質問やご意見はございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（佐藤清隆君）　質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

これより議案第6号別紙2を採決いたします。

採決は挙手により行います。

本案を許可とすることに賛成の皆様の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（佐藤清隆君）　挙手全員であります。

したがって、本案は許可とすることに決しました。

続きまして、議案第6号別紙3に進みます。

事務局長より朗読と農地法に基づく検討事項の説明を求めます。

事務局長。

〔事務局長朗読、説明〕

○議長（佐藤清隆君）　それでは、議案第6号　農地法第3条第1項の規定による許可申請についてを議題といたします。

事務局長より朗読と農地法に基づく検討事項の説明を求めます。

事務局長。

〔事務局長朗読、説明〕

○議長（佐藤清隆君）　朗読と説明が終わりましたので、これより審議に入ります。

現地調査員である渡邊しげ子推進委員のご意見をお願いいたします。

○最適化推進委員（渡邊しげ子君）　この議案に対しまして、4月7日、会長をはじめ推進委員の吉田さん、事務局4人と私の8名で現地調査に行ってきたので、ご説明いたします。

場所は54ページを御覧ください。川内方面の農道より富岡方面に走行し、25メートル程度入った場所になります。当日は、坂本さん立会いで現況を確認してきました。ここ、坂本さんのほうが今菜の花を植えているという状況です。申請内容と相違なく、当日の立会いにおいては問題の点は見当たりませんでしたので、皆様のご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（佐藤清隆君）　ありがとうございました。

推進委員の説明が述べられましたので、これより質疑を行います。皆様からご質問やご意見等はいかがでしょうか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（佐藤清隆君） ないようですので、質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

これより議案第6号別紙3を採決いたします。

採決は挙手により行います。

本案を許可とすることに賛成の皆様の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（佐藤清隆君） 挙手全員であります。

したがいまして、本案は許可とすることに決しました。

以上で議案第4号 農地法第3条第1項の規定による許可申請についての審議を終了いたします。

○その他

○議長（佐藤清隆君） 次に、日程第4、その他で事務局から何かありますか。

局長。

○事務局（堀川新一君） その他で、（1）番と（2）番については私からご説明させていただきます。着座で失礼いたします。

まず、今年度の事務局及び産業振興課の組織体制についてご説明いたします。A4横判の組織体制について御覧ください。御覧のとおり、左側から農業委員会事務局の組織図、右側が産業振興課の組織図となっております。農業委員会につきましては計5名、産業振興課につきましては課長、主幹兼課長補佐、商工観光係5名、農業振興係4名、農林土木係8名となっております。なお、農業振興係につきましては、町の組織体制図には記載しておりませんが、先ほどご説明しましたように会計年度任用職員1名、農林水産省職員1名、福島県職員1名、農業振興公社に職員1名を加えまして、産業振興課としましては計24名の体制となります。

続きまして、その他（2）、今年度の重点施策及び重点事業についてご説明いたします。A4縦判の資料になります。重点施策につきましては3点挙げておりまして、1点目が食料自給率の維持向上、優良農地の確保と効率的業務に関することを記載しております。2点目が、農地利用の適正化を目指し、担い手への農地利用の集積化、遊休農地の発生防止等に関すること、3点目が農業経営に係る情報収集等に関することを重点施策としております。

②、重点事業につきましては、令和7年3月に策定した町内6地区の地域計画の実現に向けまして、農地パトロールをはじめとする各種施策を実施することを記載しております。

説明は以上であります。

○議長（佐藤清隆君） 伊本君。

○事務局係長（伊本和明君） おはようございます。私のほうからは、その他の（3）、農地転用な

どに係る地域計画変更及びスケジュールについてご説明いたします。

カラー刷りのA3のものを御覧ください。1ページ目で、地域計画の変更スケジュールと書いてあるものであります。こちらにつきまして、令和6年度、昨年度、皆様のご協力も得まして地域計画、町内6地域で策定をすることができました。今後についてですが、毎年この計画について変更点はないとか、地域の状況が変わっていないかという協議を最低年1回開催していきたいと考えておりまして、そのスケジュールについて記載したものがこのページになります。予定といたしましては、11月下旬頃にまたお知らせを出して、座談会等を各地域で開きたいと考えております。その中で、変更等、何か変わったことがないかといった意見聴取をいたしまして、その計画変更があるかないか、あった場合にはその後関係機関等へ意見聴取をして、それを公告縦覧、新たな地域計画の公表という手順を経ていく予定でございます。

そして、2ページ、裏面を御覧ください。その策定した地域計画に記載されている農地、その農地を転用する場合についてですが、地域計画に記載された農地は、まずその地域計画から除外をしない限り農地転用の申請を受けることができないというふうになっております。なので、参考までにクリップ留めで町内の6地域の地域計画についてお配りしております、後ほど御覧いただければと思うのですが、その中に地域計画の目標地図をつけさせていただいております。地図の中で、カラーで色がついている農地については耕作されている農地、グレーで着色されているものについてはまだ現状担い手がついていない、耕作されていないが、地域計画の農地として取り込まれている農地になります。この農地の中で転用が見込まれる場合は、まず地域計画の変更をして、その農地を除外しないと転用ができないということになります。先ほど地域計画、年1回の見直しをかけていくという説明をさせていただきましたが、それを待ってしまうと転用事業者のほうでもそれは進まないということで、そういった農地転用の相談が事務局のほうにあった場合には、こちら2ページ目のようなスケジュール、各四半期ごとに該当案件があった地域について四半期の中の月、第1・四半期ですと5月の下旬頃、その地域の方々にこちらからお知らせをいたしまして、転用であつたりの計画がある農地について、除外していいかどうかというような座談会を開かせていただき、その後意見を取りまとめ、報告して計画を変更という手順を四半期ごとに、案件があった場合でございますが、実施していきたいと考えております。その際に、事前に農業委員、推進委員の皆様にはお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

また、参考までに、各委員、推進委員の皆様、地域計画の担当区域というのを以前つくらせていただきましたので、そちらの各皆様どの地域の担当になるかというのを再度お配りしておりますので、そちらもご確認のほうをお願いいたします。

説明については以上でございます。

○議長（佐藤清隆君）　どうぞ。

○事務局次長（堀川新一君）　来月の農業委員会総会の日程についてご連絡いたします。

次回の総会は、5月15日を予定しております。なお、議案審議などの後に、企画課より太陽光発電設備に関するガイドラインについてご説明したいとの旨承っておりますので、お知らせいたします。

以上です。

○議長（佐藤清隆君） ありがとうございます。

それでは、皆さんのほうから何か。

どうぞ。

○事務局（堀川新一） すみません。その他のその他みたいな形になってしまうのですが、本日資料をそろえられればよかったのですが、国家公務員の旅費の関係の見直しが令和7年4月にございました。当町につきましても、地方公務員法の旅費関係の見直しを行いまして、非常勤の特別職であられる農業委員の皆様、推進委員の皆様についても令和7年4月から改正がございましたが、その際にそちらの資料を本日添付できなかったもので、少し概要版としてまとめたものを追ってまた郵送等でご案内させていただきたいと思います。

大きなところとしては、国家公務員の旅費の規定につきましては、昨今のホテル代の上昇等もありましたので、そういう関係の見直しですとか、日当関係の考え方ですとかなんかを今回70年ぶりの改正があったということで、そちらのほうを簡単にまとめましてご案内したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（佐藤清隆君） 渡邊さん。

○6番（渡邊康男君） 審議会などについてお伺いしたいと思うのですが、この地域計画を農家の方々にどういうふうに周知をするのか、もちろん広報で今回できあがったものを挙げるとは思いますが、先ほど係長から説明がありました農地転用に伴うところの変更等がありますので、その周知の方法は町の広報等だけでは若干弱いかなというふうに思いますが、その辺どういうふうに考えておられるのか。地域振興計画の周知と併せて、農地転用の場合の計画、手続等について、その2点についてお願いしたい。

○議長（佐藤清隆君） 事務局。

○事務局係長（伊本和明君） まず、この策定した地域計画の内容の周知につきましては、今ホームページ等でしか掲載はしていないので、農家の方々に周知をするという点ではまだまだ達していないところがあると思いますので、今後まず取り急ぎなのですが、農地転用の相談が何件か来ております。なので、そのお知らせに合わせて、このように策定しましたというのを各地域の皆様にお送りしたいと思います。今後各地域にそういった地域計画の情報については適宜お知らせしていきたいと考えております。

○議長（佐藤清隆君） 渡邊さん。

○6番（渡邊康男君） ありがとうございます。そうすると、例えば農家の方々にこういうふうなものを別冊で印刷をされて、それぞれの地区の方々に送付するみたいな、そういう予算というか、計画

というか、そんなのではないということですか。あるいは、そういう必要が、特に先ほどの農地転用のところなんかは3か月も4か月もかかるということですから、その辺の周知を、その計画と併せて何か広報の必要があるのかなというふうに思っているのですが、そんな予定はないですか。計画は。

○議長（佐藤清隆君） 伊本係長。

○事務局係長（伊本和明君） まさに転用に関して、地域計画に入っている地区は変更しなければいけない、それで三、四か月かからなければいけないというものについては、実情といたしましては農家の方というよりは、転用したい事業者の方々のほうが情報としては欲しいものだと思っています。なので、そういった過去に太陽光であったりとか、転用の権限がある事業所の方々にはあらかじめその情報は流しております。また、転用前に農地、転用できる農地か、1種地区か、農振かというような照会が来ています。その都度地域計画に含まれている農地かどうかを確認して、事業所の方々には含まれていた場合、変更しなければいけないので、時間がかかりますよというアナウンスはしています。また、農家の方々については、転用については基本耕作される分については特に影響はないとは思いますが、こういった作業が必要だという情報については適宜提供していきたいと考えております。よろしくお願いします。

○議長（佐藤清隆君） そのほかございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○閉会の宣告

○議長（佐藤清隆君） それでは、皆さん、朝早くからご苦労さまでございました。

本日は、これで閉会といたします。ご苦労さまでございました。

閉 会 （午前10時50分）

上記総会の顛末を記録し、相違ないことを証するため署名する。

令和 7年 6 月 16日

委 員 林 秀樹

委 員 山 っ 輝 久 雄